

耐震対策後の岸和田城天守閣と観光交流センターの機能入替の根拠について

・方向性検討経緯

第2回岸和田城天守閣耐震対策検討委員会での委員からの「天守閣への来場者に対し、訪問目的に『天守閣』を含めたアンケート調査を実施すれば、当然その回答が多くなる。適切な項目で取り直すべき」との意見を受け、改めて現状の岸和田城来場者の需要等を把握するため、岸和田城の来場者に対しアンケートを実施した。実施期間は、令和4年4月29日から令和4年5月8日まで、805の有効回答数があり、その結果は別紙のとおり。

・アンケート調査用紙

岸和田城来場者アンケート（簡易版・令和4年4月作成）

1. お住まいはどちらですか。

岸和田市内 大阪府内（岸和田市外）近畿圏内（滋賀・京都・兵庫・奈良・和歌山）その他（都道府県）

2. 岸和田城への訪問は何回目ですか。

初めて 二回目 三回目 四回目 五回目以上

3. 岸和田城を訪れたきっかけは何ですか。

市のHPやSNS 観光振興協会のHPやSNS テレビや雑誌で見て

上記以外のSNSやYouTubeを見て その他（）

4. 岸和田城への訪問目的は何ですか。（1つだけ選択してください）

城内の展示を見たくて 八陣の庭を見たくて 3階からの展望を見たくて

その他（）

5. 岸和田城内にどのようなものがあるとまた来たいと思いますか。（1つだけ選択してください）

岸和田の歴史が学べる展示資料 来場者が休憩できるスペース お土産等の物販

岸和田市の観光スポットがわかるもの その他（）

6. 差し支えなければ、年齢と性別を教えてください。

男性 女性 その他

10歳代以下 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代以上



岸和田市魅力創造部観光課

・アンケート調査結果の考察

アンケート項目4の訪問目的の回答について、36%が「場内の展示を見たくて」との回答であり、最も多い結果となった。さらに、アンケート項目5の岸和田城にどのような機能を求めるかという質問には、「岸和田の歴史が学べる展示資料」の回答が44%で最も多くなった。この結果より、岸和田城天守閣における展示の需要があるものの、現在手法は検討中であるが、耐震対策を実施することや、来場者の利便性の向上のためにエレベーターの設置を検討しており、岸和田城天守閣におけ

る展示スペースは少なくなるため、これまでどおりの展示スペースの確保は難しい。

展示機能については、現岸和田市まちづくりビジョンにおいて、岸和田城周辺地区が歴史文化ゾーンとして位置付けられていることや、岸和田城庭園（八陣の庭）が国指定名勝、岸和田城跡が大阪府指定史跡であることから、歴史文化のガイダンスを周辺で実施するように文化庁から求められているため、引き続き城周辺で歴史文化のガイダンスを実施する必要がある。また、現状本市では、公共施設を統廃合し少しでも削減している方針のなか、新たに施設を建築することは現実的でない。

観光交流センターは今年度より、歴史文化の情報発信機能として、施設内的一部のスペースで歴史資料の実物展示とパネル展示を実施し、他のスペースで観光客や地域住民の交流スペースとしている。この機能を耐震補強後の天守閣に移し、歴史文化のガイダンスのための資料展示機能並びに資料収蔵機能を今後観光交流センターに移すことが、最も適切であると考えられる。

以上から、天守閣から展示・収蔵機能を観光交流センターに移し、天守閣は情報発信及び交流機能の役割を担う方向で検討する。（パネル展示や、一部少ないスペースでの展示は実施して「岸和田の歴史が学べる」展示機能は残しつつ、市民の憩いの場としての休憩スペース等を設置する想定。）